

# 日記2008年

ホーム

野鳥を学ぶ

自然を学ぶ

リンク

フィールドノート

サイトマップ

1/6 2008年8月をもって、このサイトも満10歳を迎える。

開設当初は、アクセス向上ばかり気にして、相互リンクをお願いしたり、いろいろなメールマガジンに投稿したりしたものだったが、一日の**平均アクセス数は、30前後**だった。

開設して約4年後に、**一日平均100**を超え、その秋頃から**300**を超えるようになった。Yahoo! JAPANで「野鳥」をキーワードに検索すると、最初の10件に表示されるようになった頃からだろうか。アクセス数がいきなり多くなり、**一日平均3,000アクセス**という月もあったくらいである。

最近ではカウンタのチェックも行っていなかったが、まだ一日平均100前後のアクセスをいただいている。フィールドに出る機会がめっきり減り、更新もままならないのに・・・である。ありがたいかぎりだ。。

自分にハッパをかけるために、そして更新の励みにするためにトップページのアクセスカウンタに、「Today」と「Yesterday」を追加してみた。数年ぶりに、アクセス状況に目を向けてみたいと思う。ということで・・・フリーのCGIプログラムと格闘した一日だった。。

2/2 NHK「新日本紀行ふたたび」で、伊豆沼・内沼が紹介された。右の写真は、そのときのロケの様子である。

6日間行われたロケのうち、田んぼの学校の取材が1日だけあった。当日は雪がちらついてとても寒く、小学生による生き物調査には不向きな日であったが、日本雁を保護する会会長の呉地さんも駆けつけ、ふゆみずたんぼに期待する効果の説明や、白鳥の観察、イトミズ・魚の調査を行った。

NHKのスタッフは3名。タクシーを借り切ったのロケである。2日の放送では、1981年頃の伊豆沼も紹介されたが、やはり画質は昔風だった。ふだん見ているテレビの画質のなんと良いことか・・・。科学は進歩しているんだなあ・・・と実感した45分間であった。



4/26 激動の年度末・年度始であった・・・。

勤務していた小学校が閉校・統合し、建設された新校舎で新しい小学校が開校した。閉校関係行事、新校舎への引っ越し、開校準備と大忙しの3月であったが、4月の異動で「登米市南東部の小学校」へ赴任することとなった。

伊豆沼のそばの小学校へ勤務すること8年。

県下一斉ガン・カモ調査をお手伝いし、田んぼの学校と関わり、さまざまな小イベントの企画にたずさわることができた。たくさんの方々にも協力をいただいた。この場を借りて御礼を言いたい。ありがとうございました。

登米市南東部の小学校は、北上川のそばにあり、近くの山にはイヌワシが営巣している。

9年前の6月には、近くの山の中でサンコウチョウの営巣も観察した、自然豊かな場所にある。出勤すると、イソヒヨドリが、きれいな声で出迎えてくれる。

ここ数年は水鳥の観察が中心であったが、これからは山の鳥を探ることが多くなるだろう。フィールドに出る機会を増やすため、日々の仕事をちゃんと終わらせることが前提であるが・・・。



6/1 午前中、登米市津山町にオシドリの写真を撮りに行ったが、1週間前にいた場所にはもういなかった。がっかりして帰宅し、のんびりテレビを見ていたら「伊豆沼にアカガシラサギ」の情報が入る。「また幼鳥だろうなあ・・・」とぜいたく(?)に決めつけ、しばらくくだらだらしていたがどうも気になる。

夕方の光がいい感じだったので、久しぶりに伊豆沼に出かけた。着くと、すでに二人のカメラマンが望遠レンズを向けているのではないかと。検討をつけて**スコープをのぞくと・・・「げっ！成鳥だ！！きれい～～(\*~\*)」**

嘴の婚姻色を初めて見た。池を隔てて距離はあったのだが、夕方の優しい光のおかげできれいに撮影することができた。久しぶりの、「小さな写真展」追加である。



6/22 魅力的な山に囲まれた職場に転勤して3か月。今月は、子供たちと2回も山登りをした。

1回目は、「天神山」。標高150.7mの山である。頂上から眺める北上川は絶景で、とても気持ちよかった。

2回目は、「虚空蔵尊の裏山」。標高318.3mの大土山南西部にあたり、針葉樹・広葉樹・竹林が混在するおもしろい山である。

頂上まで30分以上かかるらしく、このときは半分まで行って戻ってきたのだが、たくさん鳥の声を聞くことができた。声の主は、こちら。



宮城県はすでに梅雨入り。休日の山に登りにくい季節となってしまった。ゴールデンウィーク～6月初旬に登っておけばよかったと後悔している。でも、その頃はスギ花粉が気になるか……。

9/21 3か月間仕事に没頭し、そろそろ来るかな…と思って伊豆沼に行ってみた。天気は曇り時々雨。渡りには不向きな天候なのであきらめかけた16時15分。聞きなれた「カハハン、カハハン」の音が！！

沼のほうを見ると、間違いなくマガン6羽が飛んでいる。今シーズンの初認である。その後、各方面と連絡を取り合ったが、

・ 9/21 6羽 ・ 9/22 13羽 ・ 9/23 38羽 どうやら私が見たのが初雁だったようである。

すでにカリガネも確認されているとか。今年はどうな珍ガンに会えるだろうか。

10/4 珍ガン…シーズン早々に会えました。ハクガン成鳥です！

本日は、宮城労済50周年記念事業である、「秋の長沼 鳥の家クリーンアップ大作戦」が行われ、そのオリエンテーション講師として、45分間の話をする機会を与えてもらった。『登米市の三沼と鳥たち』と題して、伊豆沼・内沼・長沼の歴史や周辺で見られる鳥たち（特にガン類）の話をしたが、小さい子にも静聴してもらい、任を全うすることができた。

伊豆沼経由で帰ることにして、三工区に行ってみた。沼から飛び立つガンを双眼鏡で見ていると、羽の先が黒い1羽が目に見え込んできた。ラッキーでした。。



11/15 勤務先の6年生が学年PTA行事で「雁の飛び立ちを見る会」を企画したため、そのお手伝いで伊豆沼に向かう。5時半の時点で沼には低い朝霧…。いやな予感がしたが、上空はクリアなので真上をかぶる雁を見ることはできるだろう。

6時10分。突然の羽音とともに、低く立ち込めた朝霧の中からマガンが一斉に姿を現す！ 約1万5000羽といったところだろうか。何と壮大な光景だろう…。初めて見る子供や保護者は大歓声。15分後には、東の空から昇る真っ赤な太陽も見ることができた。県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターに移動して、朝食後、嶋田研究員から渡り鳥の話聞く。みんな興味深げに耳を傾けていた。

解散後、沼を一周してみる。獅子鼻には、いつもの場所にオオヒシクイ。三工区に車を停めると、9時30分ごろ雁の群れが降りてきた。青空をバックに休憩しているアオサギを撮影後、姿勢を低くして群れに近づく。

大きな群れは3つである。その中から、カリガネ(成鳥2幼鳥2)を見つける。隣の群れには、足環をつけたシジウカラガン1羽。帰る途中、沼内にハクガンの情報が。。行ってみると、いました3羽！ これで合計ガン類5種。う～ん…幸せだ…。



12/31 今年は転勤があったため(?)、昨年にも増してフィールドに出る機会が減ってしまった。やはり、「伊豆沼まで車で5分」の職場は魅力的であった…。

「ホームページが閑古鳥が鳴いてるんじゃない？」と知り合いにからかわれたが、何とかしないと1日200アクセスが目標どころか100アクセスすらいただけない状況になるかもしれない。

そんな中、職場の内外で伊豆沼や野鳥の話をする機会を与えていただいたことに感謝している。本年は大変お世話になりました。来年もよろしくお願いいたします。

初めて見た鳥(ライファー)たち  
今年は、ライファーに出会いませんでした。

[1991年](#) [1992年](#) [1993年](#) [1994年](#) [1995年](#) [1996年](#) [1997年](#) [1998年](#) [1999年](#)  
[2000年](#) [2001年](#) [2002年](#) [2003年](#) [2004年](#) [2005年](#) [2006年](#) [2007年](#) [2009年](#)

